

恵那西中がめざす授業

<学校の教育目標>
基本を身につけ、
粘り強くやりぬく生徒

<恵那市全体で大事にしていること>
主体的な学習（自分で考え判断し行動する）

<西中のよさと弱点>

- 自分たちで授業の課題を立て、仲間と話し合いながらわかったことやできたことを整理し、発表することができる。
- 仲間と話し合うことで、自分の考えを深めたり広げたりすることができることを感じている。
- せっかく授業で学んでも、他の学習や普段の生活に生かすことがうまくできない。

<もっと授業で生み出したい姿>

- *今日の授業は「何ができればいいのか」「何がわかればいいのか」ゴールを考えながら学習している。
- *授業の課題に対して自分の考えを書いたり話したりやってみたりする。そして、仲間の考えを聞いたり一緒に活動したりすることで自分の変化が自分でわかる。
- *自分が知っていることやできることをどんどん増やし、積極的に使う。

目指す姿 **生き生きと学び続ける生徒**

願い
大きく2つの工夫（「単元を大切にした授業をします」「自分の力で課題を解決できるよう手助けをします」）をすることによって、西中の生徒は、<もっと授業で生み出したい姿>を授業の中で見せてくれるはずである。また、仲間と学ぶことで、一人一人が自分の力で課題に立ち向かうたくましさを身につけるはずである。そして、他の学習や普段の生活にも学んだことをどんどん使っていてほしい。先生たちは、西中の生徒が生き生きと学び続ける姿をみたい。

<先生たちの工夫1> **単元を大切にした授業をします** 深い学び〈教材研究の重視〉

- ・「単元を貫く課題」によって、1時間1時間の授業がそこにつながるように工夫して教えます。
- ・「勉強したことをどんどん使えば、社会生活や生き方と関係した問題も自分で解決できるな」と一人一人が思えるような単元の終わりの授業を工夫します。 深い学び〈各教科等の目標の実現〉

<先生たちの工夫2> **自分の力で課題を解決できるよう手助けをします**

- ・「自分でやろう」「仲間から学ぼう」という意欲を高めるために 主体的な学び〈課題の意味が分かる〉
 - ① 1時間の学習の見通しがもてる課題にします。
 - ② 考えの違いや変化が見やすい黒板やノート等にします。 対話的な学び〈意見や発言をつなげる〉〈自分たちで結論を作る〉
- ・自分の変化が自分でわかるために
 - ① できたこと（わかったこと）できていないこと（わからないこと）を確認します。
 - ② 今日の授業を振り返る場や時間をつくります。 主体的な学び〈次の学習への意欲や見通し〉

よい授業をつくりだすための土台

① ともに頑張ろうとする気持ち ②自分たちで工夫する意欲 ③家庭学習（予習・復習）